第２部「これからの時代に求められる教育：OECD Education2030プロジェクト」

- **登壇者**
  - 鈴木 文孝　（OECD教育・スキル局 アナリスト）
  - 木村 優　（福井大学連合教職大学院 准教授）
  - 竹内 陽渚　（福井県立若狭高等学校 国際探究科2年）
  - 松尾 直博　（東京学芸大学 教授）
  - 柄本 健太郎　（司会：東京学芸大学 講師）
- **第2部の問い**
  - **OECD Education2030プロジェクトとは？**
    - **その成果は？日本への影響は？日本は何ができるのか？**
  - **「エージェンシー」とは？**
    - **生徒の中で育つことでどのような良さがあるのか？なぜ重要／必要なのか？課題は？**

1

（2020年3月11日(水) 15時～17時30分にオンラインで実施）

第二部「これからの時代に求められる教育 OECD Education 2030プロジェクト」という題で始めさせていただきます。今回登壇者としてOECDから鈴木様、福井大学から木村様、福井県立若狭高校から竹内さん、本学（東京学芸大学）から松尾教授にご登壇いただきます。司会は柄本がさせていただきます。

第二部では、OECD Education2030プロジェクト*1とはというのがまず大きな問いになっています。2015年から始まりましたこのプロジェクトの成果、それから日本への影響また日本として何が世界に貢献できるのかなどを詳しく鈴木様にご説明いただけるかと思います。それからエージェンシーという大きな概念も問いとして挙げられます。こちらはそもそも何なのかというのもありますし、生徒の中で育つことでどのような良さがあるのか、また今なぜ重要なのか、必要なのか、そして日本の中での課題について皆様にご議論いただけると思います。

*1：経済協力開発機構（OECD）によるOECD Future of Education and Skills 2030事業

第２部「これからの時代に求められる教育：OECD Education2030プロジェクト」

趣旨説明	柄本
1. Joint Presentation 「OECD 学びの羅針盤（Learning Compass）2030と Education2030 Phase2に向けて」	鈴木（OECDの立場から） 木村（研究者の立場から） 竹内（生徒の立場から）
2. 成果と提案３およびディスカッション ・話題提供「エージェンシーに関する教育の課題と可能性」 ・ディスカッション	 松尾 全員

流れとしましては私の趣旨説明の後に、ジョイントプレゼンテーションということで、鈴木様、木村先生、竹内さんからそれぞれご発表いただきます。それぞれOECDの立場から、研究者の立場から、生徒の立場からEducation 2030プロジェクトというものを語っていただくことになっています。併せまして今回エージェンシーについても議論をということで、松尾先生から話題提供として、エージェンシーに関する教育の課題と可能性という内容の発表をいただきます。その後全員でディスカッションとなります。

一応触れておきますが、昨今新型コロナウイルスによる感染症の広がりということでなかなか先の見えない状況、大人も答えがよくわからない状況になっており、ある意味ネガティブな状況でございますが、そういう時だからこそエージェンシーという力が一つ重要になってくるのかなと思います。そのあたりもご議論いただけるかもしれません。

- **登壇者について**
  - **鈴木 文孝　（OECD教育・スキル局 アナリスト）**
    - 元・文部科学省初等中等教育局教育課程課課長補佐。2019年よりOECDへ出向し、E2030事業にアナリストとして関わる。
  - **木村 優　（福井大学連合教職大学院 准教授）**
    - ISN1.0に2015年から関わり、福井クラスターをサポート。IWG(E2030事業の国際会議)に第8回から継続参加中。
  - **竹内 陽渚　（福井県立若狭高等学校 国際探究科2年）**
    - ISN2.0に2018年から関わり、研究会・国際会議にて生徒としての声を発信、議論を実施。第9回・第10回IWGに連続参加。
  - **松尾 直博　（東京学芸大学 教授）**
    - 東京学芸大学のOECD共同研究に2015年から関わり、主に道徳教育、エージェンシーに関する研究を担当。第10回IWGに参加。
  - **柄本 健太郎　（東京学芸大学 講師）**
    - 東京学芸大学のOECD共同研究に2015年から専任教員として関わる。第4回～第9回IWGに参加。

3

最後になりますが登壇者については一人一人の発表の前に少しずつ発表させていただきます。

まずはジョイントプレゼンテーションといたしまして鈴木文孝様にご登壇いただきます。鈴木さんは OECD 教育スキル局のアナリストとしてご活躍されております。元・文部科学省初等中等教育局教育課程課の課長補佐を務めておりました。2019年よりOECDに出向されまして、Education2030事業にアナリストとして関わられております。では鈴木様、発表を宜しくお願いします。